



東日新聞  
ピンクリボン  
キャンペーン  
2016

乳がん検診・治療が受けられる医療機関②

## 乳腺専門医2人体制、東三河の乳がん治療を牽引

### 豊川市民病院



柄松先生(前列左)を中心にチーム医療を展開

#### チーム医療で 最先端の検査・治療を提供

地域中核病院としての役割を担うと同時に、東三河の乳がん治療のパイオニア的存在。乳腺内分泌外科部長の柄松章司医師と三田圭子医師は日本乳癌(がん)学会認定の乳腺専門医。この2人の医師を中心に、経験と知識が豊富な技師らがチーム一丸となり、最先端の検査・治療体制で対応している。同市諏訪町から八幡町へ新築移転して4

年目。細胞検査士6人を抱え、患者にとって痛みが少なく、しかも高精度で素早い診断が可能な「穿刺吸引細胞診」を10年以上前から行っている。

「細かい標本を医師に渡すことができればよい」と、佐藤初代副技師長。「注射程度の針を使うので跡も残らない」と話す。

検査もさることながら、手術、抗がん剤治療、乳房再建手術などの分野でも東三河をリード。近隣病院との医療提携もさらに強め、手術だけでなく精神的なケアも行っている。

#### 乳腺専門医2人体制で 治療にあたる

三田圭子医師  
乳腺専門医の柄松医師と三田医師が行った乳がん手術は昨年132件を数えた。乳がん治療の最新の動きを見ながら、患者に最も適した治療を施す。同学会評議員も務める柄松医師は、乳がんの市民啓発にも力を注ぎ、豊川市医師会と共催で「乳がん市民公開講座」などを開いている。

#### マンモグラフィ検査施設 画像認定施設として



スタッフに指導する柄松先生(前)

検査制度管理中央委員会のマンモグラフィ読影A判定を持つ柄松・三田医師は、週4回(月・木)の外來診療も行っている。三田医師は、女性ならではの配慮で、患者からも信頼が厚い。「日常のささいな変化も聞き取って、治療につながるようになっています。優秀なスタッフが揃っているので、私には治療にも専念しやすいです。空いた時間は極力、患者さんや家族と話す時間にあてたい」と、ときめ細やかな対応を心がける。



乳腺内分泌外科部長  
柄松章司先生

#### 患者一人ひとりに寄り添い、乳がん治療のすべてに応える

「患者一人ひとりに寄り添い、乳がん治療のすべてに応える」

まで万全の体制を整えてきました。すべての要望にこたえるべく患者さんを迎えています。

高精度の検査に裏打ちされた診断、最適な治療を行い、自信を持って乳がん治療を進めています。

乳がんは、早期発見で9割治る病気。悩んでいる人はぜひ来てほしい。スタッフ一丸となって患者さん一人ひとりに寄り添い、納得できる治療を進めています。



化学療法センターで

#### 環境にも配慮した 化学療法センター

検査の充実とともに、術後も万全な体制を整えている。抗がん剤治療を行う化学療法センターでは、がん化学療法看護認定看護師と、がん薬物療法認定薬剤師が、柄

マンモグラフィや乳腺MRIも、全国レベルの高い技術を誇る。診療放射線技師は5人で、すべて女性。全員が日本乳がん検診制度管理中央委員会の技術A認定を持っている。

マンモグラフィ検査施設画像認定施設として、全国でも20%程度の施設でしか行われていないマンモグラフィのフルデジタル化撮影から画像診断までデジタルで行うことを実現している。

乳腺エコーは、女性臨床検査技師5人が担当。乳腺甲状腺超音波学会A判定もしくはB判定の腕を持つ。さらに、三田医師を中心に乳がん画像の検討会を行うなどして、総合的に乳腺疾患を理解するためのスキルを上げている。織田綾香さんは「若い人にエコーを受けてもらいたい」と呼びかけながら、自己研鑽(さん)にも余念がない。

#### 乳房再建にも 積極的に取り組む

乳房再建は、一期、二期合わせて年間20件以上のペースで実施。自家組織での再建と人工物(インプラント)による再建のどちらにも対応。「患者と相談しながら再建方法を決めていく」という方針で、「無理に温存するよりも全摘して再建した方がきれいな乳房になることが多い。また、乳房をなくした喪失感からも解放される」と柄松医師も乳房再建に積極的だ。



豊川市民病院

【病院DATA】  
豊川市八幡町野路23  
電話 0533(86) 1111  
http://www.toyokawa-city.jp  
\*乳腺外來は月曜・木曜(午後予約)

## ピンクリボンを「行動」に!

ピンクリボンを「知っている」から「行っている」へ。

今や日本人女性約12人に1人が乳がんにかかる時代。乳がんの早期発見・治療の重要性を訴えるピンクリボン自体は広まっても、まだまだ定期的な乳がん検診を受けていない人が多いのが現状です。大切な人を悲しませないためにも、定期的に乳がん検診を受けましょう。そして、常日ごろからのセルフチェックも忘れずに…。

今年のピンクリボンキャンペーンも以下の団体・企業に支えられています。

- 後援/豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市、東三女医懇話会、国際ソロプチミスト豊橋、国際ソロプチミスト豊橋ポート、豊橋ベンチャークラブ
- 特別協賛/サーラグループ、豊川信用金庫、蒲郡信用金庫、東三河ヤクルト販売株式会社、株式会社ブラネッツ
- 協力/愛知県厚生農業協同組合連合会 湊美病院、医療法人仁畜会 国府病院、総合青山病院、独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センター、社会医療法人明陽会 成田記念病院

東日新聞ピンクリボンキャンペーン2016  
【主催・お問い合わせ】東海日日新聞社(東日新聞)・事業部/〒440-0874 豊橋市東松山町90番地  
TEL.0532-53-2800 Email ribbon@tonichi.net http://www.tonichi.net

10月下旬  
発刊予定!

希望者には  
郵送します  
(郵送料別途)

今回紹介している各病院の情報をさらに詳細に!東三河で乳がん検診・治療が受けられる病院紹介など全16ページで構成。東三河の各市町村の関係施設、主要病院、豊橋・豊川・蒲郡・岡崎の各信用金庫(とよしん、かわしん、がましん、おかしん)、豊橋商工信用組合の東三河の全支店などで無料配布します。

※表紙デザインはイメージです